

情報公開用文書

2024 年 5 月 16 日作成

研究課題名	新規膵癌マーカー;シアリルフィブリノゲンガンマ (FGG)の有用性の検討 -多機関共同観察pilot研究	
研究の対象	2015年4月から2023年10月までに採取され、横浜市立大学バイオバンク室に保存されている膵臓癌・慢性膵炎・膵管内乳頭腫瘍・膵内分泌腫瘍で外科切除術をされた患者さん117名と、研究対照として健常者30名の方の、各々保存されている血液を調べます。バイオバンク登録時の年齢が18歳以上の方が対象です。	
バイオバンクから提供する検体	疾患血清 112人 検体採取日 2015年4月1日～4月30日 2016年9月1日～11月30日 2017年1月1日～7月31日 2018年3月1日～11月30日 2019年6月1日～7月31日 2020年1月1日～12月31日 2021年1月1日～12月31日 2022年1月1日～10月31日 2023年1月1日～10月31日 疾患血漿 1人 検体採取日 2023年10月1日～10月31日	健常者血清 30人 検体採取日 2017年6月1日～6月30日 2018年6月1日～6月30日 2019年6月1日～6月30日 2020年6月1日～6月30日 2021年7月1日～7月31日 2022年6月1日～7月31日 2023年6月1日～7月31日
研究目的・方法	横浜市立大学バイオバンク室にて保存している検体と情報を収集して、膵臓癌について検討します。また、保存された血液を用いてFGGの発現を調べます。膵臓癌になりやすい慢性膵炎や、膵管内乳頭腫瘍、更に神経内分泌腫瘍との関係についても検討します。 いずれも通常の診療等で得られた情報・検体を用いますので、研究対象の方のご負担になることはありません。	
研究期間	西暦 2024年 4月 1日(実施機関の長の許可日) ～ 西暦 2027年 3月 31日 試料・情報の利用・提供を開始する予定日:西暦 2024年 4月 1日(実施機関の長の許可日)	
研究に用いる試料・情報の種類	【試料】 横浜市立大学バイオバンク室で保存された以下の検体を用います。 ・診療で採血された際の血液検体です。遺伝情報は含まれません。 【情報】 診療録から以下の情報を収集します。 ・手術方法・手術時期・病理結果・病期(stage)転移の有無	
バイオバンクから提供する情報の種類	年齢、性別、検体採取年月日、腫瘍マーカー検査値、術前補助的化学療法、外科手術の有無、抗がん剤治療の有無、生存期間	
この研究についての問い合わせおよびこの研究への利用を拒否する場合の連絡先: 横浜市立大学附属病院 バイオバンク室 電話:045-787-2800 メール:sentanbb@yokohama-cu.ac.jp		